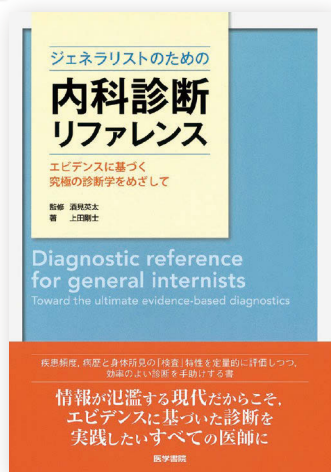


今月の連載関連本 ①



ジェネラリストのための内科診断リファレンス エビデンスに基づく究極の診断学をめざして

酒見英太＝監修 上田剛士＝著

本体 8,000 円＋税／B5 判・736 頁／医学書院／2014

本稿と、特集内論文「深める！ 急性アルコール中毒」(p.156) をご執筆の上田剛士先生の代表作であり、ジェネラリストのバイブル本。

疫学、病歴、身体所見、検査という診断学の一連の流れを網羅し、エビデンスに基づいた診断とは何かを追求する。殊に病歴・身体所見を深く掘り下げ、リファレンスをあげて「多い／少ない」「大きい／小さい」という抽象的な説明でなく、極力具体的な数字を示して解説。診断に悩む症例に遭遇した際に、役に立つ。ジェネラリストにこそ求められる診断学として、内科診断のみならず整形外科、眼科・耳鼻科なども収載。